

E1.学生を育てる 第2回アンケート集計

2021年度 研修終了報告

研修名：E1.学生を育てる―第2回―

実施日：2021年6月2日（水）13時～17時

方法：オンライン（ZOOM）形式

講師：東邦大学看護学部 教授 岸恵美子 先生

協力者：東邦大学看護学部 講師 中田かおり 先生

同 講師 橋本裕 先生

同 助教 後藤喜広 先生

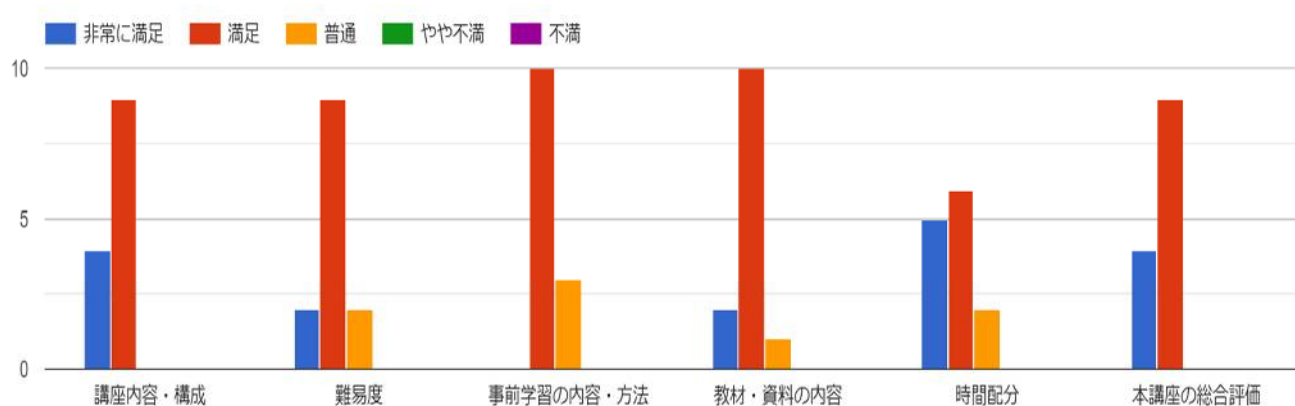
東邦大学健康科学部 助教 水流添秀行 先生

同 助教 笠間秀一 先生

参加者：19名（大森9 大橋6 佐倉4）

【終了後アンケート結果】 n=13 回答率 68.4%

講座内容



【学びになったこと・興味深かったことなど(抜粋)】

- 他病院の臨地実習の指導の仕方がそれぞれ違ったので、いろいろなやり方を知れて良かったです。
- 学生の言動を承認することで、実践の動機づけに繋がること。ひとつでも多く承認し、学生のやる気に繋がられるよう、指導者として取り組んで行きたいと感じた。
- グループワークで他病院での取り組み、その部署での取り組みを知ることができ、自部署でも出来そうなことを考えることができました。アソシエイトの先生から先生の立場でのご意見も聞くことができたので、今後の学校の先生方とのコミュニケーションをとるタイミングなど知ることができ、大変貴重な時間でした。最近の学生の傾向を知ること出来たのでコミュニケーションをとる際に参考にしたいと思います。

- 現代の学生の傾向などを知れてよかった。
- 学生指導における困難さを共有できてよかった。
- 「教育とは共育でもある」一方的な教えではなく、自分自身も学びになっているので共に成長しているんだと再認識をした。

【意見・ご感想など(抜粋)】

- 今回の研修で自分自身も教育することで成長の機会に繋がること、学生や新人に対してどのように指導したいか、どう接していききたいかを見つめ直す機会となりました。ありがとうございました。
- 今後の学生指導を見直すきっかけとなり、これまでの指導方法の見直し、改善に役立てたい。また、病棟での学生や、新人の教育改善に努めるよう病棟内への還元もできるようにしていきたい。
- 興味深く受講することができました。講義の内容を思い出しながら実践し、学生と共に成長できるような指導者になりたいです。ありがとうございました。
- 他の病院の担当者と学生指導について共感し、違った角度から話が聞けて勉強になりました。
- ZOOMを使用した研修だったので、職場内で研修を受けられ良かった。

【まとめ】

2回シリーズの研修の2回目でした。今回は、東邦大学看護学部長の岸恵美子先生の講義で、臨地実習の意義や目的、学生・教員・実習指導者の役割、実習指導者への期待について学ぶことから研修がスタートしました。講義の後には、3病院からの参加者混合メンバーに加え、協力者(アソシエイト)として看護学部・健康科学部の先生方にも参加いただき、グループに分かれた検討を行いました。グループ検討では、自部署の教育理念・方針を確認し、それを踏まえて自分が実習指導者としてどのように指導環境を整備するかや、指導者としてどのような指導を実施するかなどを話し合いました。参加者は、初めのうちは慣れないリモートでのグループ検討に少し戸惑う様子もありましたが、少し時間が経つと活発に意見交換をしていました。

本研修の受講者は、今回の2回目の研修終了後に研修で得た学びを活用した実践報告レポートを提出しました。レポートでは、自身の理想とする実習指導を明確にし、部署の現用や特性に応じた取り組みの工夫と実践結果を丁寧にまとめていました。

1回目、2回目の終了アンケートと実践報告レポートの内容より、本研修の目的・目標は達成されたと評価します。